

## テーマ①：新治小学校の小規模化について

### 1 新治地域と新治小学校の現状について

#### (1) 地域の現状

新治地区は、市全体と比べると極めて少子高齢化が進んでいる状況にある。

①新治地区は65歳以上の人口が40%を超えている。

②新治地区の15歳未満の人口の構成割合(5.7%)は市の構成割合(10.2%)より低い。

[表1] 新治地区の年齢別人口（平成12年・令和2年の比較）

地区	年齢別	平成12年		令和2年		比較[R2-H12]	
		人口(人)	構成割合	人口(人)	構成割合	人口(人)	構成割合
新治	15歳未満	302	14.1%	80	5.7%	△222	△8.4%
	15～64歳	1,307	61.1%	725	51.8%	△582	△9.3%
	65歳以上	530	24.8%	596	42.5%	66	17.7%
	計	2,139	100.0%	1,401	100.0%	△738(34.5%減)	
本納 3地区	15歳未満	2,127	14.5%	849	7.2%	△1,278	△7.3%
	15～64歳	9,614	65.3%	6,406	54.3%	△3,208	△11.0%
	65歳以上	2,979	20.2%	4,546	38.5%	1,567	18.3%
	計	14,720	100.0%	11,801	100.0%	△2,919(19.8%減)	
市	15歳未満	14,349	15.1%	9,054	10.2%	△5,295	△4.9%
	15～64歳	65,408	69.0%	50,586	57.0%	△14,822	△12.0%
	65歳以上	15,059	15.9%	29,065	32.8%	14,006	16.9%
	計	94,816	100.0%	88,705	100.0%	△6,111(6.4%減)	

#### (2) 新治小学校の児童数及び学級数の現状

①複式学級が平成25年度から発生している。現在、3・4年生が複式学級であるが、他の学年も複式学級の対象となる状況である。

②男女の偏りについて、6学年のうち4つの学年で男子または女子が1人である。

③複式学級対応のため、市から講師を1名増置している。

[表2] 男女別児童数と学級数（令和3年度）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
男子(人)	2	3	1	4	2	3	15
女子(人)	3	1	6	1	1	3	15
合計(人)	5	4	7	5	3	6	30
学級	1	1	1*複式		1	1	5

※複式学級対象の人数…二学年で16人(ただし、1年生を含む場合は8人)

#### (3) 学級数が少ないことによる学校運営上の課題

文部科学省では、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」(H27.1.27策定)の中で、学級数が少ないことによる学校運営上の課題を示しており、新治小学校の現状と併せて主なものを記載した。

手引きにおける学級数が少ないことによる学校運営上の課題		新治小学校の現状	
①	クラス替えができない	⇒	全体で5学級しかないためクラス替えはできない
②	クラブ・部活動の種類が限定	⇒	部活は陸上、体操、音楽、水泳の4種。クラブはスポーツと工作関係の2種。サッカーやミニバスの大会には参加できていない
③	運動会等の集団活動・行事の教育効果が下がる	⇒	運動会などで実施できる種目が限定される(少人数で行える競技のみ)
④	男女比の偏りが生じやすい	⇒	6学年のうち4つの学年で男子または女子が1人
⑤	体育・音楽等の集団学習の実施に制約が生じる	⇒	体育の授業で球技(バスケット、サッカー等)ができない。音楽の授業で合唱ができない

## 2 小規模特認校について

- (1) 小規模特認校制度は、学校規模の適正化や複式学級の解消などを目的に導入されている。
- (2) 複式学級解消のために導入した場合、適正規模を満たすほどの児童数の増加は見込めない。
- (3) 小規模特認校制度の導入後、統合(閉校)している事例は見受けられる。

[表3] 他市の小規模特認校の事例 ※県内25事例のうち一部抜粋

	小学校 (自治体)	①人口 (R3年度)	②児童数 (R3年度)	③小学校数 (R3年度)	④当該児童数 [導入開始年度]	⑤当該児童数 (R3年度)	増減数 (⑤-④)
県内	東清小 (木更津市)	136,091	7,218	18	53[H28]	54	1
	弥富小 (佐倉市)	168,543	8,180	23	79[H20]	58	△21
	手賀東小 (柏市)	429,182	22,043	42	41[H24]	59	18
県外	城山西小 (宇都宮市)	517,369	26,808	69	35[H17]	107	72
市	茂原市	88,073	3,682	13	-	-	-

## 3 統合に対する教育委員会の考えについて

### (1) 教育委員会の考え

- ①新治小学校は市内で唯一複式学級が生じており、過度な小規模化の進行は望ましいものではない。複式学級の解消は喫緊の課題である。
- ②茂原市学校再編審議会の答申(R3.6.25付)では、本納小学校と令和5年4月1日に統合と示されており、尊重する考えである。
- ③小規模特認校制度の導入について、他市の事例を見る限り、児童数の大幅な増加は期待できないため、統合することにより一定の集団規模の確保を図り、最終的には適正規模を目指す考えである。
- ④子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、子どもたち一人一人の資質や能力を伸ばしていくには、一定の集団規模が必要であり、答申に基づき本納小学校との統合が望ましいと考える。

## テーマ②：本納小学校の教育環境について

### 1 小中学校の整備状況について

#### (1) 駐車場の使用状況について

本納小学校・本納中学校（以下「本納小中学校」という。）の北側に64台分の駐車場を整備した。今後、統合となった場合にはスクールバス等の導入が見込まれるため、バスの駐車（旋回）スペースの確保や本納小中学校の北側道路の拡幅が計画されているため、併せて進入口等の更なる駐車場の整備を考えている。

#### ⇒現在の状況について

- ・学校からは「特に雨の日は送迎の車が多く、混雑はしているが、大きな混乱はない。」と報告を受けている。

#### (2) 道路整備について

本納小中学校の北側道路を拡幅し、片側に歩道を整備する計画がある。今後の予定としては、用地交渉に1年間、橘樹神社から踏切までの道路工事（歩道含む）に2年間、JR踏切の拡幅工事に1年間を目指している。

#### (3) グラウンドや体育館の使用状況について

- ①部 活…曜日や週を分けて、活動場所を計画的に割り振っている。
- ②昼 休 み…小学生と中学生が一緒に遊んでいる光景も見られるとのこと。

#### (4) 主な整備箇所一覧

- ①校 舎…鉄筋コンクリート造3階建て。耐震性、耐火性、遮音性が高い構造。
- ②教 室…LED照明で明るく、黒板は上下可動式。ガス警報器や換気扇も設置。
- ③昇 降 口…スロープを設置。バリアフリーで段差はない。
- ④ト イ レ…照明や手洗い場に人感センサーを設置。
- ⑤エレベーター…給食の運搬時に利用。ケガをした子どもが利用することも可能。
- ⑥階 段…手すりや滑り止め、階段の手すりに落下防止用のアクリル板を設置。
- ⑦遊 具…ブランコや鉄棒など8種類設置。
- ⑧防犯カメラ…3箇所に設置。モニターのある職員室から常に監視できる体制。
- ⑨路面整備…正門や北側駐車場付近から新校舎の昇降口まで敷地内通路（グリーンベルト）を設置。
- ⑩図 書 室…部屋を拡張。小学生が利用しやすいよう高い本棚を低い本棚に変更。
- ⑪体 育 館…小学生用のバスケットゴールや、小学生と中学生の双方が利用できるよう、高さを変えられるバスケットゴールを設置。
- ⑫柔剣道場…床一面の張り替え。鉄棒が利用できるように床面を改修。

#### ⇒本納小中学校の校舎について

- ・本納小学校の見学会の参加者からは「教室の整備（LED照明や上下可動式黒板等）が良い。新しく良い。中学校も綺麗。」等のご意見をいただいている。
- ・学校からは「新校舎や特別教室等の施設が綺麗で活動しやすい。充実した特別教室（音楽室、美術室）で授業ができる。備品、消耗品等が豊富で効率的に活動ができる。」等の報告を受けている。

## 2 小中一貫教育について

今年度から本納中学校区で小中一貫教育が始まっている。本納中学校区の目指す子供像を4校で共有し、小中学校9年間を一貫した教育方針で子どもたちを育てる。

### (1) 本納中学校区の目指す子供像

『ふるさと本納を愛し豊かな人間性と知性を備え、  
主体的に将来を切り開く児童生徒』

### (2) 本納中学校区の小中一貫教育

#### ① 乗り入れ授業について

本納中学校の先生が小学校の授業に乗り入れたり、本納小学校の先生が中学校の授業に乗り入れたり、小中学校の先生が連携して特色ある授業を行っている。

[実績]

#### ア 小学校の授業で本納中学校の先生が指導した授業数

小学校	理科		外国語	音楽			
	5年生	6年生	6年生	3年生	4年生	5年生	6年生
本納小学校	4	8	17	-	-	14	13
新治小学校	4	-	17	20	20	-	-
豊岡小学校	-	13	10	-	-	10	10

#### イ 中学校の授業で本納小学校の先生が指導した授業数

中学校	数学	英語
	1年生	1年生
本納中学校	13	12

#### ⇒ 乗り入れ授業について

- ・学校からは「乗り入れ授業を楽しみにしている子どももいる。また備品など共用できるものが増え、授業づくりの幅が広がった。」等の報告を受けている。

#### ② その他

- ・本納小学校が移転した初日（9/1）は、本納小中学校の先生たちで子どもたちの登下校の様子を見守った。また同日に対面式を行い、中学生と小学生の交流を図った。
- ・本納小中学校合同で避難訓練を実施した。また、本納小学校で救助袋を利用した避難訓練も実施し、避難ルートなどを確認し、防災意識の向上に努めた。

#### ⇒ 普段の学校生活について

- ・学校からは「登下校も特に問題なく、子どもたちは元気よく通っている。授業中は落ち着いており、新校舎での生活に慣れてきている。挨拶や振る舞い等について、中学生が手本となっており、小学生は良い影響を受けている。新しい校舎をきれいに保とうと自主的に清掃を行う児童が増えた。」等の報告を受けている。

### 3 水害対策について

本納小中学校の周辺道路は、大雨の際は道路冠水が発生することがある。水害対策の抜本的な解決は赤目川や乗川の改修が必要であるが、河川改修の整備には相当な期間を要する([表1]及び[表2]参照)。

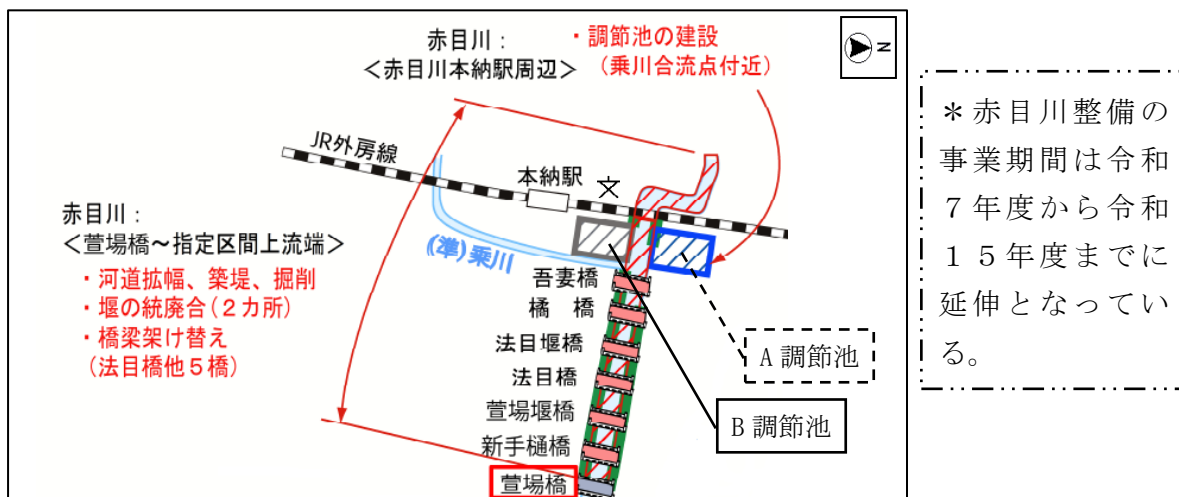
なお、市内小中学校では児童生徒の安全確保について、次のような対策を講じている。

#### [児童生徒の安全確保]

- (1) 台風が接近している場合は、状況に応じて臨時休業や自宅待機など登校前に事前の安全確保を図る。
- (2) 午前6時の時点で大雨警報等が発表された場合は臨時休業とする。
- (3) 登校後に大雨警報等が発表された場合は、保護者への引き渡しや帰宅が困難な場合には子どもたちを学校に留め置く。

**※大雨警報等に関わらず、悪天候等により登下校の安全が危惧される場合には、各学校長判断で臨時休業等の措置を講じている。**

[表1] 赤目川整備事業概要 ※公共事業評価審議会資料(県土整備部河川整備課)一部抜粋



[表2] 赤目川整備事業の進捗状況 ※公共事業評価審議会資料(県土整備部河川整備課)一部抜粋

河川	用地買収状況	主な残事業
南白亀川	概ね完了	・築堤
赤目川		・築堤、掘削、護岸、調節池、堰(統廃合の地元協議を実施)
小中川		・掘削、護岸(道路事業との共同事業として実施予定)

北日当堰～萱場橋改修

↓

赤目川B調節池建設

↓

赤目川A調節池建設

↓

萱場橋～JR外房線 河道拡幅

↓

JR外房線～上流端 河道拡幅

【赤目川の整備】

完了済み

全体計画延長7.7kmのうち約4.2km及びB調節池が完了

## 4 ガス対策について

平成31年2月に本納小学校校舎建設時の地質調査において、土中(地表から深さ80cm)から1%(10,000ppm)以上の湧出ガス(地下から天然ガスが湧出したもの)が検出されたため、次のような対策を講じている。

### [補足] 天然ガスについて

- ※1 空気より軽く拡散しやすく、無色、無臭で毒性がないため、吸い込んでも一酸化炭素のような中毒症状を起こすことはない。主な成分はメタンガスであり、メタンガスは金属への腐食性はない。
- ※2 一般的に危険な濃度は、5%~15%(50,000ppm~150,000ppm)とされている。

### (1) 施設における対策

- ①教室等の天井裏にガスが充満しないよう、壁面に通風口を設け自然排気している。
- ②屋上に排出用通気管を設け、3階天井裏にガスが溜まった場合、効率的に排出している。
- ③地下ピット等から排出用通気管を設け、屋上付近から排出している。

### (2) 学校運営における対策

警報器が作動した場合は、子どもたちは速やかにその場から離れ、先生に報告するように指導している。先生は窓を開けるなどをして十分に換気を行う。

### **通常時の換気**

換気扇が24時間作動している。業間、昼休み、清掃時は窓を開けて換気をしている。

## 5 騒音(電車の音)対策について

本納小学校校舎は線路から距離が近いので、次のような対策を講じている。

### ○施設における対策

- ①窓ガラスは二重サッシを使用している。
- ②換気扇は教室の壁面には設置せず、天井裏に設置し、風道管には消音ボックスを設置している。同様に空調設備の風道管にも消音ボックスを設置している。

### ⇒電車の音について

- ・学校からは「子どもたちは特段気にする様子もなく、普段通り学校生活を送っている。」等の報告を受けている。
- ・本納小学校校舎の見学会の参加者からは「電車の音は気にならない。」とのご意見をいただいている。

## テーマ③：跡地利用について

### 1 茂原市の考え方について

#### (1) 跡地利用の基本的な考え方

- ①行政需要を確認した後、小中学校は貸付、その他の施設は売却で進める。
- ②貸付は、災害発生時に避難所となる体育館や公共的な使用が見込めるグラウンドを市が利用できるよう配慮する。


#### (2) 新治小学校の跡地利用の考え方

地域の意見を取り入れ、新治の交通利便性が良い立地を活かし、地域が活性化するような施設が望ましいと考える。

- ①避難所（避難場所、避難所）としての機能は残す方針である。それ以外は、基本的に民間のアイデアを借りながら跡地を活用する。
- ②地域として要望があれば検討する。例）集会室等

### 2 市内の事例について

#### ■学校法人 佐藤学園の概要（旧西陵中学校）

	企業名	学校法人 佐藤学園
	立地時期	令和4年4月（開校予定）
	契約形態	賃貸
	事業内容	広域通信制高等学校の運営
<p>《事業概要》</p> <p>広域通信制高等学校の茂原学習センターを設置するとともに、全国44か所に設置している学習センターの東日本地域における拠点として、学校管理とスクーリング（教室での対面による学習指導）の運営を行う。（予定）</p>		

### 3 県内の事例について

#### (1) 企業誘致の実績・効果


<提供：県企業立地課>

5年間で17市町村に37企業が進出したことにより、31施設※の活用已成功したほか、地域に434名の雇用を創出。 ※複数企業による同一施設の活用を除く


年度	実績		市町村名
	施設数	雇用数	
H28	3市町、5企業		南房総市、勝浦市、栄町
	3施設	35名	
H29	5市町、7企業		いすみ市、大多喜町、長南町、南房総市、睦沢町
	8施設	187名	
H30	4市町、10企業		鴨川市、勝浦市、長南町、長柄町
	4施設	47名	
R1	5市町村、6企業		九十九里町、長生村、南房総市、君津市、銚子市
	6施設	70名	
R2	7市町、9企業		木更津市、市原市、長南町、君津市、東庄町、横芝光町、鴨川市
	11施設	95名	

## (2) 県内の事例


### ■旧西小学校（長南町）

	企業名	(株)マイナビ地域創生
	立地時期	平成30年3月
	契約形態	賃貸
	事業内容	団体向け宿泊施設・カフェ
<p>《事業概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・高校のスポーツ合宿やゼミ合宿、企業の開発合宿等の受入に対応した宿泊施設を運営（最大84名の受入が可能）</li> <li>・地域交流エリアとして、職員室をリノベーションしたカフェの他、子供が遊べるベビールームやキッズルーム等を併設し、地域の賑わいの創出にも貢献</li> </ul>		

### ■旧長南小学校（長南町）

	企業名	リングロー(株)
	立地時期	平成31年2月
	契約形態	賃貸
	事業内容	PCの修理、販売、サポート
<p>《事業概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの修理、販売、サポートを行うリングロー(株)が、PCの引取や販売の他、従前東京で展開していたコールセンター業務の一部を旧長南小学校で展開</li> <li>・リノベーションにより町民が気軽に立ち寄れる空間を作り、パソコン、スマホなどの困りごと相談に無料で対応しているほか、出張サービスも無料で実施するなど、同社の存在は地域に浸透</li> </ul>		

### ■旧猿田小学校（銚子市）

	企業名	(株)銚子スポーツタウン
	立地時期	令和元年7月
	契約形態	賃貸
	事業内容	スポーツ施設、研修施設
<p>《事業概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ合宿、企業研修等の受け入れ施設として、旧銚子西高校跡地で展開している事業と連携して実施</li> <li>・校舎を活用したレンタルオフィス事業</li> </ul>		